

座学では学べない医療を経験した4週間

私は、4月3日より県立中央病院総合内科にて実習させていただきました。

総合内科ならではの原因不明熱や、原因がわからない症例が多く、フラットな視点で患者さんの話を聞き身体診察を取ることが重要だと実感しました。それと同時に、座学で学んでいた医学の知識は実臨床とは異なる点が多く、鑑別疾患をあげることがまず難しいと感じました。毎日新患患者の間診をすることで、とても勉強になりました。

実習中は、総合内科の先生方が総合診療について、プライマリーケアとはどういったものか等、時間を割いてとても詳しく教えていただき、今後需要が増えていく総合診療についても知ることができとても参考になりました。県立中央病院を選択したからこそ知ることができたのではないか、と思い、実習にて県立中央病院を選んでよかったと思うことができました。

実習中は研修医の先生と入院患者さんを見る時間が多く、研修医の先生の様子から自身も来年には研修医になり働いている姿をイメージすることができ、より一層勉強に励まないといけないと改めて感じることができました。

患者さんの社会的背景を考えるなど医学知識以上のことを自分で考えてどう対応していくかなど経験することができ、とても有意義な実習を過ごすことができました。

忙しい中、優しく指導していただいた先生方に感謝申し上げます。